

令和2年度(2次募集) 未来農業のフロンティア育成研修 研修生募集

県内で新規就農を希望する方等を対象に、農業技術修得のため、県農業試験場や果樹試験場、畜産試験場などにおいて、2年間の研修を行います。

「今こそ、農業という選択」 《活躍する修了生》



柴田 直さん(湯沢市桑崎)25年度修了
木綿子さん(〃)26年度修了

研修終了後、木綿子さんはトマトを栽培を始め、研修で知り合った直さんと結婚しました。その後、ハウスを増設し、現在、ハウス12棟で養液土耕方式のトマト栽培をしています。

研修中は行政の方などに補助金や融資についてじっくり相談し、有利にハウスを建設することができました。

千田 幸彦さん(横手市増田町) 26年度修了

リンゴ120a、ブドウ20a、オウトウ10aを栽培しており、主にブドウを担当しています。

品種は8割が「シャインマスカット」、2割が「くろみのり」、「しなのスマイル」です。今後は品種の数を増やしていきたいと考えています。



菊地 宣篤さん(横手市大森町) 26年度修了

就農当初は露地ギク30aと60坪ハウス1棟で取り組みました。現在はハウスを360坪に増やし、ハウス主体でキクを出荷しています。

必要とされる時期に一定の品質のものを出荷できるような栽培を心がけています。

黒崎 貴博さん(潟上市) 28年度修了

非農家なので農業の知識はほとんどありませんでしたが、農業は成長産業だとの思いから農業を志しました。現在、ネギ40aなどを作付けしており、今後拡大する予定です。

フロンティア研修をとおして様々な農業関係の方や、自分と同じように農業を志す仲間と出会うことができ、就農の力となりました。



応募方法は裏面へ

秋田県農業研修センター

令和2年度 第2次募集について

1 応募資格: 次の要件をすべて満たすこと

- (1) 新たに農業を始めようとする者又は現に農業を営む者で、農業で自立しようとする意欲が高く、研修修了後の県内就農が確実と見込まれる者。
- (2) 申請時の年齢が原則50歳未満である者。

2 研修コース及び募集定員等

研修コース	研修場所	定員	適用
作物コース	農業試験場（秋田市雄和）	6名	※1 作物コースは、作物部または生産環境部を選択する。作物部では主に水稻等の栽培を、生産環境部では主に水稻等の病害虫防除や土づくりについて学ぶ。
野菜コース	農業試験場（秋田市雄和）	2名	
花きコース		3名	
果樹コース	果樹試験場（横手市平鹿）	5名	
	果樹試験場天王分場（潟上市天王）	1名	
	かづの果樹センター（鹿角市花輪）	1名	
肉用牛コース	畜産試験場（大仙市神宮寺）	1名	
酪農コース		1名	

3 応募方法: 市町村農政担当課へ応募書類を提出してください。

4 研修費用: 受講料はかかりません。

ただし、宿泊研修の宿泊費等、テキスト代、資格試験費用等は別途負担となり、また、各自、パソコンや傷害保険加入等の準備が必要です。

5 研修奨励金の交付等:

県と市町村による研修奨励金（年間90万円）の交付を予定しています。
なお、国の農業次世代人材投資事業（準備型：年間150万円）を活用する場合は交付されません。

6 その他

- 1) 受付期間: 令和元年11月26日(火)～令和2年1月17日(金)（市町村へ必着）
- 2) 応募書類: 所定の様式により応募してください。
様式は、県地域振興局農林部農業振興普及課、市町村で配布します。
（秋田県農業研修センター ウェブサイトからのダウンロードも可能です。）
- 3) 選考方法: 書類審査、小論文及び面接試験を行います。
- 4) 選考期日: 令和2年2月3日（月）～7日（金）の間とし、試験会場とともに応募者に通知する。

★ 詳しくは、秋田県農業研修センター、県地域振興局農林部農業振興普及課、市町村農政担当課までお問い合わせください。

秋田県農業研修センター

秋田県秋田市雄和相川字源八沢34番地1

電話番号 018-881-3611 FAX 018-886-8610

e-mail agri-tra@pref.akita.lg.jp

webサイト <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/13819>